［成果情報名］○○○○○○○による○○○○○○○○ための○○○○○○○○○システム

1行程度、全てMS P ゴシック、サブタイトル不可

［要約］○○○○○○○○○○○○○○○○○○により、○○○○○○○○○○○○○○を評価する手法である。○○○○○○○○○○を効率的に評価でき、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に有効である。　成果の内容や特徴を3行以内にまとめる

［キーワード］○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○　5つ程度

［担当］○○○○研究センター（部門）・○○研究領域・○○○○グループ　略さず記載

［代表連絡先］[XXXXX@XXX.affrc.go.jp](mailto:XXXXX@XXX.affrc.go.jp)　主担当者が所属する研究所の窓口となる部署のメールアドレスを記載。（九沖研の場合は　q\_info@ml.affrc.go.jp　）

［分類］研究成果情報

1行空ける

［背景・ねらい］

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・の問題があり、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・技術の開発が求められている。

そこで、本研究では・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・により、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・を明らかにする。

1行空ける

［成果の内容・特徴］

１．本システムは、○○○○○○、○○○○○○によって構成される(図1)。○○は○○した場合、○○○○より○○○○を示す（表1）。

２．○○○○は○○○○より○○○○が高い（表2）。このように、○○○○は○○○○に対して有効である。

３．○○によって、○○○が○○される（図2）。これにより、○○が可能となる。

４．○○の価格は、既製品よりも○％安価である。

1行空ける

［成果の活用面・留意点］

１．・・・・・・・・・・・・・

２．・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

３．・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

1行空ける

［具体的データ］図表は4つ以内。枠はつけない。解像度が高く、鮮明なものを用いる。

表1　○○○○○○○○

図1　○○○○○

図2　○○○○○

表2　○○○○○

（佐藤太郎、山本花子）

1行空ける

［その他］各項目で間違いが多く見られるので、研究評価プロトコル「12\_R6成果情報の記載方法について」をよく確認し、記載する。

予算区分：交付金、農林水産省（生産コストの削減に向けた効率的かつ効果的な施肥技術の開発、温暖化の進行に適応する生産安定技術の開発、...）、文部科学省（科研費、戦略的創造研究推進事業、...）、農林水産省（SIP、経営体プロジェクト）　予算名称の記載には要注意（「99\_（参考）R6外部資金名称」を参照）。

研究期間：20○○～20○○年度　研究を行った期間を記載（予算の期間を記載しない）

研究担当者：佐藤太郎、山本花子、○○○○（○○県農研セ）、○○○○（○○県農研セ）、○○○○（○○産業）、○○○○（○○大）

発表論文等：主要成果4件以内。

１）佐藤ら（20○○）土肥誌、60:50-60

２）Yamamoto H. et al. (20○○) J. xxx. xxx. 15:120-125

３）農研機構（20○○）「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○マニュアル」http:/www.naro.affrc.go.jp/xxxx/xxxx（20○○年5月公開予定）

・A4版、縦置き、3ページ以内。

・上下・左右余白、文字数、行数は変更しない。

・文字の大きさは10.5ポイント、英数字は半角（成果の内容等の項目番号は全角）。

・フォントはタイトルMS P ゴシック、本文MS明朝（英数字も同じ）。

・段落の設定は、配置「左揃え」、インデント左右とも「0字」。

・全角句読点「、」「。」、括弧は全角（英文、数字のみの場合は半角）を使う。

・本文中改行する場所以外では、改行コードを挿入しない。

・段落中にスペース・タブ・改行を入れない。

・品種名は「」書き、品種の特性は“○○”で示す。

例：「○○」の△△病抵抗性は“やや強”である。

・微生物・ウイルス等の学名は初出時に属名を略さずに記載。一般的な動植物等の学名は記載不要。

・年は西暦で記載。

・半角カナ文字及び外字は使用不可。

詳細は研究評価プロトコル「12\_R6成果情報の記載方法について」を参照する。